

WHO ファクトシート

鎌状赤血球症及びその他のヘモグロビン異常

Sickle-cell disease and other haemoglobin disorders

ファクトシート No. 308

2011年1月

重要な事実

- ・世界の人口の約5%は、ヘモグロビン異常の遺伝子を持っており、主として鎌状赤血球症とサラセミア（地中海貧血）である。
- ・ヘモグロビン異常は、一般的には双方とも健康な両親から突然変異したヘモグロビン遺伝子を受け継いだことによる遺伝的血液疾患である。
- ・毎年30万人以上の重度ヘモグロビン異常を持つ子どもが生まれている。
- ・ヘモグロビン異常の健康に対する負荷は、疾病の管理・予防プログラムによって効果的に軽減することが出来る。

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分についての日本語版の翻訳権をWHO事務局長より付与され、WHO健康開発総合研究センター（WHO神戸センター）の協力のもと作成したものです。日本語版に対する責任は全て日本WHO協会が負います。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Sickle-cell disease and other haemoglobin disorders ファクトシート原文は [こちら](#)